

— EGFR阻害薬に代表される — 分子標的治療薬で起こりやすい 皮膚のトラブルと、その対策

聖マリアンナ医科大学病院 がん看護専門看護師 中村 千里
国立がん研究センター中央病院 がん看護専門看護師 柳 朝子

制作・著作：和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座

聖マリアンナ医科大学病院 がん看護専門看護師 中村 千里

EGFR阻害薬における 皮膚のトラブルの発生頻度

発疹（ほっしん）・ざ瘡様皮疹（ざそうよう ひしん）
25～80%程度

爪囲炎（そういえん）
10～65%程度

乾 燥
20～75%程度

注）発現頻度は薬剤により異なります
国内承認済み医療用医薬品添付文書より、副作用発現頻度を確認

特徴的な副作用は皮膚のトラブル



■ざ瘡様皮疹（ニキビのような発疹）
顔（Tゾーン）、あたま、胸背部、大腿、首



■爪囲炎（爪の周囲の炎症）
手指・足趾の爪のまわり

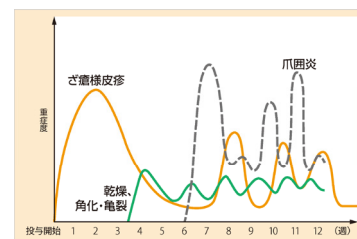
写真提供：国立がん研究センター皮膚腫瘍科 山崎直也先生

＜セルフケアが大切な理由＞

1. 起こりうる皮膚のトラブルを、できる限り抑えることを目指す
治療開始と同時に“セルフケア”をはじめ、皮膚のトラブルをなるべく軽くする

2. 皮膚のトラブルが起きたあと、1日でも早い回復を目指す
正しい“セルフケア”を続けることで、かゆみや痛みが悪化しないように抑え、
早い回復につなげる

皮膚のトラブルの出現時期



治療開始後、比較的早い時期からざ瘡様皮疹が現れる
個人差はあるが、数日～数週間以内にみられることが多い

出典：柳朝子氏、Prog Med 40: 1315-1329, 2020年 参考に作成

症状を制御するために まずはスキンケア

・治療が始まる前から 積極的なスキンケアを！
（プロアクティブ ケア）

症状が出てから対処するのではなく、

あらかじめ予防策を講じることで、

発生頻度や重症度を軽減

スキンケアの3つのポイント

●保 清 ： 汚れや余分な皮脂を洗い流す

●保 湿 ： 皮膚のバリア機能を高める

●保 護 ： 紫外線や摩擦などの刺激を避ける

— EGFR阻害薬に代表される — 分子標的治療薬で起こりやすい皮膚のトラブルと、その対策

聖マリアンナ医科大学病院 がん看護専門看護師 中村 千里

保 清（ほせい）

泡で丁寧に、優しく洗う

- ・泡タイプの洗顔料・ボディソープを使うと便利
- ・泡で肌を包み込むように優しくなでるように洗う
- ・軟膏を塗っている部分は2-3回繰り返す

しっかり洗い流す

- ・洗浄成分が肌に残らないよう丁寧に洗い流す
- ・ぬるま湯で洗い流す
- ・洗い残しやすすぎ残しに注意しましょう

やわらかいタオルでおさえるように拭き取る



保 湿

洗いあがりに、すばやく保湿

- ・入浴後や洗顔後はすぐに保湿剤を塗る（30分以内）

塗り心地がよく、毎日続けられるモノを選ぶ

- ・クリーム、ローション、スプレータイプなど種類は様々

- ・肌質、季節、好みに合わせて選ぶ

FTUを参考にして、正しい量を塗る

- ・FTU（Finger Tip Unit）

人差し指の先から第一関節まで出した量＝大人の手のひら約2枚分の目安

念入りにチェックする箇所は

- ・顔、頭皮、胸、背中など乾燥しやすい部分
- ・手足のはら、指先の横、爪の周りなど生活動作で皮膚の摩擦が起こる場所

フィンガーチップユニット（FTU）

1 FTUが手のひら2枚分の広さに塗る外用薬の目安（約0.5g）



1 FTU＝軟膏、クリームの場合



1 FTU＝ローションの場合

人差し指の先から第一関節まで

手のひら2枚分の広さに適した量

保湿剤の使用量（目安）

● 顔	：適量
● 顔・首	：2.5FTU
● 胸・お腹 ● 背中	：各7FTU
● 片腕	：3FTU
● 両手	：2FTU
● 片脚 （太もも・ふくらはぎ）	：6FTU
● 片足	：2FTU

保湿剤の塗り方



- ①保湿剤を（FTU）手のひらにとります
- ②塗りたい面に何点か分けて保湿剤を皮膚にのせてゆきます
- ③手のひらでおさえるように塗ります
指先ではなく、手の平を使ってやさしく丁寧に、塗り広げてください

保 護

肌を刺激から守るポイント

■摩擦から身を守る

- ・綿素材など肌に優しい、ゆったりとした衣服を選ぶ
- ・きつい靴や指先に負担のかかる作業は避ける

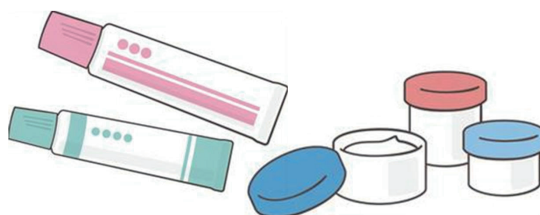
■食事のときゴム手袋

- ・水仕事の際はゴム手袋を着用

■紫外線対策

- ・肌が紫外線に敏感になるため対策をする
- ・外出時は日焼け止め（SPF30以上、PA++以上推奨）
- ・帽子、長袖、日傘などで直射日光を避ける（特に顔、首、腕）

皮膚のトラブルは早めにみつけて適切な処置を



— EGFR阻害薬に代表される — 分子標的治療薬で起こりやすい皮膚のトラブルと、その対策

国立がん研究センター中央病院 がん看護専門看護師 柳 朝子

皮膚のトラブルに対する具体的な対処法について

- (1) ざ瘡様皮疹 (ざそうようひしん) の対処法について
- (2) 爪囲炎 (そういえん) の対処法について
- (3) 浮腫 (ふしゅ) の対処法について
- (4) 皮膚トラブルへのフォローアップ

(1) ざ瘡様皮疹の対処法について



写真提供: 国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科 山崎直也先生

ざ瘡様皮疹の対処法

予防セルフケア

基本的なスキンケア (保湿・保湿・保湿)

症状出現時のセルフケア

悪化防止

ステロイド外用薬の使用

細菌感染時

抗菌薬の使用

ざ瘡様皮疹が現れた時の、セルフケアのポイント

外用薬の種類による使い分け: 効果的に外用薬を使用します

保湿薬		肌を保湿することを目的に処方されます。適切な量を全身に塗布します。
ステロイド薬		皮疹の改善を目的に処方されます。全身の肌の厚みが違うので部位によって異なる強さの薬が処方されます。指示通りに使いわけてください。
抗菌薬		皮疹が細菌感染したときに処方されます。ステロイド薬と目的が大きく異なるため、処方された時には使用方法を医療者によく確認しましょう。

(2) 爪囲炎の対処法について



写真提供: 国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科 山崎直也先生

爪囲炎の対処法

予防セルフケア

基本的なスキンケア (保湿・保湿・保湿)

症状出現時のセルフケア

悪化防止

テーピングの実施

ステロイド外用薬の使用

細菌感染時

抗菌薬の使用

難治性

医師による処置

爪囲炎の予防 セルフケアのポイント

爪切り: 爪の皮膚への刺激を防ぎます

スクエアカット 		- 爪囲炎は爪が皮膚に食い込むことで悪化します - 特に爪の角が巻き爪のように皮膚に食い込みやすいので爪の角は伸ばして巻き爪のようになるのを防ぎます
ラウンドカット 		爪は爪切りで切るのが痛いときは、やすりや赤ちゃん用の爪切りばさみを使うと痛みが軽減します

爪囲炎が現れた時のセルフケアのポイント

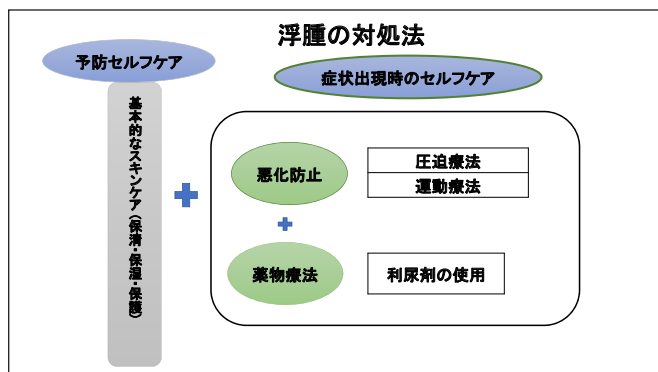
テーピングの実施: 爪の皮膚への刺激を防ぎます

テーピング法		- 巻いたテープで引っ張り爪と皮膚を離すことで刺激を防ぎます - 安価に実施できます - テープがぶれに注意
保護法		- ハイドロコロイド素材のテープを爪と皮膚の間にに入れて刺激を防ぎます - コストがやや高めです - 皮膚の保護作用があるのでかぶれない

— EGFR阻害薬に代表される — 分子標的治療薬で起こりやすい皮膚のトラブルと、その対策

国立がん研究センター中央病院 がん看護専門看護師 柳 朝子

(3) 浮腫の対処法について



(4) 皮膚トラブルへのフォローアップ

皮膚の観察と記録

皮膚の観察と記録は自身のセルフケアと医療者への情報提供に大切です

皮膚の観察		- 朝や入浴後などに顔や手足の観察をします - 症状が出てきたり悪化していないかの確認をします
皮膚の記録		- 使用している治療薬を作っている製薬会社が記録用の日誌やノートを配布している場合はそれを利用します - ないときはメモ帳などに簡単に皮膚の状態と行ったケアについて記録をします

最後にフォローアップ体制

皮膚症状が 現れたら		- 次回の診察時に医療者に相談しましょう - 相談のするときにノートに記録していれば、それをみせるとより正確に伝わりやす - 不安な時は迷わず相談しましょう
日常生活に 支障がでたら		次回の受診を待たずに、電話などで医療機関に相談しましょう

『皮膚症状が気になる、悪化した、また日常生活に支障がでたりしたら』
ためらわず、治療をしている病院の医師・看護師・薬剤師に相談しましょう

QRコードにアクセスして、今回で説明した皮膚に生じるトラブル対策を
説明する動画を、ぜひご覧ください

<https://npo-jasmin.org/kanjasan/>

